

アジア学術会議～科学者フォーラム～開催

平成5年12月 日本学術会議広報委員会

今回の日本学術会議だよりでは、10月20日から22日まで開催された第117回総会の概要、同総会で採択された「生物遺伝資源レポジトリー及び細胞・DNAレポジトリーの整備について（要望）」等、11月15日から18日まで開催されたアジア学術会議～科学者フォーラム～についてお知らせします。

アジア学術会議～科学者フォーラム～の開催について

- 1 日本学術会議は、アジア地域の各国科学者の代表を東京に招き、本年11月15日（月）から18日（木）までの4日間、三田共用会議所（東京都港区）においてアジア学術会議～科学者フォーラム～を開催しました。
- 2 このアジア学術会議～科学者フォーラム～は、地理的、歴史的、文化的に多くの共通点を持つ近隣諸国間の交流がそれぞれの国の学術の発展、ひいてはその地域全体の学術の発展にとって極めて重要であるとの認識から、アジア地域の各国における学術研究の現状について情報交換を行うとともに、アジア地域における学術研究分野での連携・協力の在り方などについて討議し、併せてアジア地域の学術研究者間の相互理解と信頼を深めることを目的として、本年度初めて開催したものです。
- 3 今回の会議には、中国、インド、インドネシア、日本、マレーシア、フィリピン、大韓民国、シンガポール、タイの9か国の学術推進機関（アカデミー等）から推薦された人文・社会科学系及び自然科学系の科学者19名が出席し（日本からは近藤次郎日本学術会議会長及び川田侃同副会長が出席）、「アジア地域における学術の発展とそのための連携・協力について」をメイン・テーマとして活発な討議を行いました。
- 4 初日の15日には、鳩山内閣官房副長官（内閣総理大臣あいさつ代読）を始め、国会議員、各国大使館、関係学協会、関係省庁、関係団体などから200名を超える方々をお迎えし、開会式及び歓迎レセプションを開催しました。
翌16日からの自由討議においては（17日は筑波研究学園都市視察（研究交流センター、電子技術総合研究所、農業生物資源研究所を訪問）、それぞれの国籍や専門分野を超えて、アジア地域における学術の振興という共通の目的の下、熱心な討議を行い、議長サマリーをまとめ、18日に無事閉会しました。

開催に当たり御支援・御協力いただきました方々に厚くお礼申し上げます。

（参考）アジア学術会議～科学者フォーラム～議長サマリー（仮訳）

- 1 アジア学術会議～科学者フォーラム～は、日本学術会議の主催により、アジア地域の9か国から、19人の各国の科学界を代表する科学者の参加を得て開催され、それぞれの国籍や専門分野を超えて、アジア地域における学術の振興という共通の目的の下、熱心な議論がなされた。本会合に参加した科学者は、学術の振興を通じた社会への貢献が重要であり、科学者の責務であるということを確認し、学術研究の成果は、人類の共通資産として、文化的、社会的、経済的発展を通じて、世界の平和と人類の福祉に貢献するものであると信じる。また、そのためには、自然科学者と人文・社会科学者の密接な協力も不可欠である。
- 2 本会合に出席した科学者は、アジアの科学者による学術協力についての初の会合を提案し、開催した日本学術会議に感謝し、今後も、このような日本学術会議の努力が続けられることを期待する。
- 3 今日、世界は、環境悪化、人口爆発、資源の枯渇など人類の英知を結集して取り組まねばならない深刻な問題に直面しており、本会合での討議は、そのような問題の解決に向けての将来の国際協力に発展していくものである。
- 4 持続的開発は、アジア地域の各国にとって、21世紀に向けての共通の重要課題である。地理的、歴史的、文化的に密接な関係を持つアジア地域の科学者は、この問題に協力して取り組むことが重要である。
- 5 国際的な研究、技術・資源の共有等に当たっては、地域的な協力が効果的である。今後、そのような領域において、地域の発展のために協力を推進することが必要である。

- 6 学術の発展, 社会の発展の基盤となる人材の育成は, 科学者が地域的に協力して取り組むべき課題である。次世紀に向けて, 人材の育成のため, アジアの科学者も協力することが必要である。
- 7 各科学者及び各国は, 研究者の交流, 共同研究, シンポジウム, ワークショップ等による情報の交換を促進するよう努力することが必要である。
- 8 学術協力は, 対等互恵の原則に基づいて行われねばな

らない。

- 9 本会合の趣旨, 提案を受け継ぎ, より密接な学術交流・協力の基盤となる将来の会合が開かれることを期待する。
- 10 アジア地域の科学者によるこのような会合を毎年開催すること, 当面, 日本学術会議がその事務局となること, アジア地域の学術動向についてのニューズレターを定期的に発行することを提案する。

月報だより

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1)所属部門・所属講座, (2)勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1)着任時期, (2)任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1)提出先, (2)問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

国立天文台地球回転研究分野教員

1. 教授または助教授 1 名
2. (1)地球回転研究系
(2)岩手県水沢市
3. 地球力学
- 4 地球および惑星の構造と力学に関する理論的もしくは観測的研究を独創的にすすめる能力をもつ研究者を希望します
5. (1)決定後なるべく早い時期
(2)外国籍の場合は, 任期を設けることがあります
6. 博士の学位を有する者またはそれと同等以上
日本語もしくは英語を話せること
7. ①履歴書 ②研究歴 ③研究論文リストおよび主要論文別刷 ④研究計画 ⑤本人について意見を述べられる 2 名の氏名および連絡先 ⑥応募職種 (教授, 助教授の別)
8. 平成 6 年 7 月 20 日 (水) 必着
9. (1)〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 小平桂一
(2)〒 023 岩手県水沢市星ヶ丘町 2-12
国立天文台地球回転研究系
横山紘一
電話: 0197-22-7132, ファックス: 0197-22-7120
10. 封筒の表に「地球回転分野応募書類」と朱記し, 簡易書留でお送りください
11. ①選考は国立天文台運営協議員会において行いま

す

②国立天文台の停年は 60 歳です

(上記の英文)

SENIOR FACULTY POSITION IN GEODYNAMICS (READVERTISEMENT)

Earth Rotation Division, National Astronomical Observatory, Japan

Call for application to this position was made with the due date of 28 December 1992 and a final candidate was selected. However, the candidate was not able to take the position due to personal reasons. Hence this position is readvertised for applications.

Applications are invited for a position of professor or associate professor of geodynamics at Earth Rotation Division of National Astronomical Observatory (NAO), Mizusawa, Iwate, Japan. The candidate should have a PhD or an equivalent qualification with proven capability to do research in theoretical and/or observational studies on the structure and dynamics of the Earth and planets. The working language is Japanese or English. A contract for a limited-term appointment may be made with the successful applicant with non-Japanese citizenship according to the Japanese Regulations for Civil Servants. Retirement age at NAO is 60 years old. Applications with curriculum vitae, description of previous research activities, list of publications with reprints of major scientific papers, research plans at NAO, and two professional references, specifying the rank of the applied post (professor or associate professor), should be sent to Keiichi Kodaira, the Director General, National Astronomical Observatory, 2-21-1, Osawa, Mitaka, Tokyo 181, Japan by 20 July 1994. For further information, please contact Koichi Yokoyama, the Chairman of the Earth Rotation Division, NAO, Mizusawa, Phone: 81-197-22-7132, Fax: 81-197-22-7120, E-mail: yoko@gprx.miz.nao.ac.jp. Advisory Council for Research and Management of NAO is responsible for selection.